

第 1 回庄内町立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時：平成 26 年 5 月 22 日（木）19 時～21 時
- 2 開催場所：庄内町立図書館 二階自習室
- 3 出席委員：小野寺姫、池田孝一、金内淳、日野淳、遠田由美子、舘林由美子、小野寺博
- 4 欠席委員：なし
- 5 事務局：図書館長、主査、主事補

進行：主事補

1 開会 主事補

2 辞令交付

3 あいさつ

○図書館協議会委員長

この協議会については、図書館の円滑な運営を推進するために、それぞれの立場からご意見をいただいている。NHKの朝の連続ドラマでも教会の図書館がキーワードだが、図書館に来るとわくわくした気持ち、幸せな気持ちになり、雰囲気的にもほっとする、よりよい居場所になるようお願いしている。職員も一所懸命にがんばっていることが伝わってくるし、皆様からいろんなご助言を頂戴したい。

○課長

図書館の運営に関して、本に親しむ機会をどう町民に提供し、充実したものにしていくか、ご協議いただきたい。今回は分館の館内1階への移設案についても委員のご意見を伺いたい。本は創造力をかきたて、日常とちがう世界を感じられ心も落ち着く、いろんな方にいろんな本をたくさん読んでいただけるよう頑張っていきたい。

○館長あいさつ

前任の田中館長の後を引き継ぎ、4月から図書館長に就任した。50代から60代の図書館利用を除くと利用者の減少が課題となっている。職員も一生懸命にがんばっているが、ソフト面やハード面での様々な課題を抱えている。皆様からのご助言を取り入れて改善していきたい。

4 自己紹介

5 報告事項

- ・平成 26 年度庄内町立図書館運営計画について
- ・平成 26 年度庄内町立図書館協議会年間計画について
- ・平成 26 年度庄内町内藤秀因水彩画記念館運営計画について
- ・庄内町立図書館設置規則及び管理条例施行規則の一部を改正する規則
《事務局説明》

○(1)の資料の内容説明

上記内容について、一括にして概要のみ説明した。

《報告の内容》

(委員長) 報告の説明資料により、皆様からご質問・ご意見を願います。私から確認したいことだが、図書館運営計画の中で、小・中学校の図書館蔵書検索端末の利用促進では、この8月末までということだが、この検証はしたのか。

(事務局) 各小・中学校7校に、平成21年度長期継続契約5年間ということで、図書館の蔵書を検索できる端末を導入した。これまで図書主任会などを通じ先生方に確認し、子どもたちの積極的な利用が少ないこと、また、昨年度、各学校へ独自の図書館電算化システムの導入がされ運用活用していること、町の図書館システムと連動しないこともあり、更新しない判断をしたところである。8月末までの長期継続契約が終了後、撤去作業する予定である。

(委員) 学校の図書館電算化システムはどういうものか。

(委員) 各学校の蔵書をバーコード化して、電算で貸出しや返却ができる。子どもの貸出の情報も記憶でき、貸出傾向や集計作業もでき非常に効率よくなっている。ただ、これまで本の後ろにあった貸出カードですぐ、読んだ本がひとめでわかることはないため、その点は手間がかかるように思う。

(委員) 今は、パソコンでプリントアウトしたりできるし、電算化システムをうまく活用すれば、いろいろなことが可能となり、これまでよりずっと効率がいいはずである。

(委員) このシステムの活用で、子ども読書の充実にも大きな効果を与えていると思う。

6 協議事項

(1)平成26年度事務事業評価(庄内町立図書館事業評価H25)について

(2)図書館分館(狩川公民館)の館内1階への移設について

《事務局説明》

○(1)の資料の内容説明

《協議の内容》

(委員長) 事業評価について、データ等の資料など内容説明を通して、皆様から質問、意見はありませんか。

《協議の内容》

(委員) 調べ学習における学校からの要望という話があったが、調べ学習などでこの図書館で応じられるものはどんなものがあるのか。

(事務局) 例えば、調べ学習では、「ねこ」についてとか、小説でないものだと、「アリとすみれ」、「橋」など、また随筆や図鑑も多い。図書館で対応できない本については、県立図書館など相互貸借などで補って対応している。

(委員) 学校が必要とする図書の分類には、どのようなものがあるのか。一般文学の9分類が大半を占めていると聞く。更新すれば大変経費がかかる。県立図書館や他の図書館で雑誌のスポンサー制度をやっていると聞いたことがある。そういうもので子どもたちに適用できるものにしたらどうなのか。

(事務局) 天童の図書館でも雑誌については行っているようである。ここの図書館は、雑誌の種類も少ないので、増やしたいと思うが、配架できる場所的な問題もあり、このような制度の導入については現在は考えていない。

(委員長) その他に何かありませんか。

(委員) インターネット予約の状況はどうか。

(事務局) インターネットの登録者は増えているが、利用はまだ少なく、1日1回位で利用者は固定している。

(委員) 私は、雑誌は館内で読むものと思っていたので、雑誌も貸出できるということには気がつかなかった。雑誌も借りて有効活用できるということなど知らない人も多いのではないかな。もっと広くPRしたほうがいいのではないかな。

(事務局) 広報の「あなたの図書館コーナー」で情報をPRしているが、雑誌の貸出ができることを広く町民に理解されていないことを改めて知った。利用者へどのように知らせるかを検討していく。

(委員) 広報に利用者の声を掲載すると読者が確実に読むのではと思う。

(館長) 広報に「図書館のコーナー」として新刊情報など掲載している。図書館の新刊情報に利用者の声とか啓発とかできないか検討したい。加えて図書館だより等を発行できないか検討しているところである。まず少ない号数でスタートし、反響みて増やしていけたらと考えている。広報紙として、町民の皆さんにどういう方法でお届けするかも検討していきたい。

(委員) 図書館のホームページに新しい情報を載せてはどうか。

(委員長) 以前に、みんなに啓発する情報をそれぞれ別個に出すと経費もかかるし、広報の誌面に入れ込む流れになっていたと記憶している。これには賛否両論があったが、確実に情報が届くようにということになっていたように思う。

(委員) 響きホールでも、予算化し、誌面に入れて町民に訴えたいと思った。関心ある人には、もっと意図的なものがあったてもいいのではと思う。年数回でも、町民に意図的な「図書館だより」等が出せればいいと思う。

(委員) ホームページも一つの手法である。私は役場のホームページを開いたり、図書館のホームページもながめたりしている。時々情報を更新していけば、見る人も増えるのではないかとと思う。

(委員) 私は、役場のホームページはあまり見ない。主婦層の40代から60代で、興味ある人は開くと思うが、あまり期待はできないと思う。広報の一部の新刊情報を3分の1削って、図書館を利用した人の声や意見を掲載したら、必ず見るのではないかな。農協の広報などでも、組合員による2、3行の意見がのっていると、わくわくして読む。

(委員長) 今は、スマートフォンを大勢の人たちが持っている時代になった。公民館や図書館で、いろんな情報を詳しく知りたいという人は、是非町のホームページを見て欲しいとPRしていく必要があると思う。

(委員) 今は、パソコンがないと生活できない環境になっている。これからの時代はそれがあたりまえの時代になっていく。

(委員長) 図書館でも、そういう情報を発信するきっかけになる場所になってほしい。説明の中で、図書館の基本的なルールやこれまでのサービスの在り方を見直ししてきたことはいい取り組みだったのではと考える。

(委員長) 次に、(2) 図書館分館(狩川公民館)の館内1階への移設について、事務局より説明をお願いします。

《事務局説明》

○狩川公民館の耐震改修に伴う分館の移設案の資料説明

今年度狩川公民館の耐震改修に伴って、持ち上がったものである。現時点では、必ず館内の1階へ移設ができるとは言えないが、皆様からご意見を伺いたい。

(委員長) 説明の内容について、何か質問や意見はありませんか。

(委員) 狩川公民館の耐震工事に合わせて、1階へ移設できるとすれば、最高のタイミングである。是非進めていただきたい。

(委員長) 協議会でも、分館利用の意識を高めるためにどのようなことができるか考えてきたが、今回教育委員会や社会教育係で関わってもらえるのは喜ばしいことである。子どもの居場所を作るだけでなく、大人の居場所としても必要だと思う。

(課長) 学校帰りの子どもたちが、放課後午後3時から6時頃の時間帯に図書館を利用し、本を読んだり、勉強したり過ごせるという場所として捉えている。

(委員) 酒田の図書館は職員が館内全体をすべて見通せる。鶴岡の図書館は個人の勉強する一人一人のブースがある。ここの閲覧室は机に高い衝立があるため、密室のような構造になっていると感じている。今の子どもたちには、図書館の利用の仕方は教育されているはずなので、図書館が読書や調べ学習の利用でなく、ただ時間を過ごす憩いの場所として整備する必要があるのかは疑問に思うが、大人も子どもワンフロアで顔の見えるいい構想だと思う。ただし、職員が全体に目が届くような配慮をしてほしい。

(委員) 現在は、2階の図書室へ行っても、職員もいないし、これではいけない。声をかけてくれる人がいないと利用者にとっては、温かみを感じられず、利用したいと思わない。子どもたちが過ごす場所になるとすれば、職員が子どもたちをいつも見守ることができる状況にしないといけないと思う。事務室から図書館の中が見えるようなガラス張りにするとか、子どもたちの様子を把握することができるように、職員が気配り、目配りできるようにしてほしい。

(課長) 1階の雑品庫となっている部屋には、4つドアがあるので、その辺で考慮しないとイケないのではと考えている。

(委員) 私は、頻繁に分館を利用しているが、現在のままだと利用しやすいと感じたことはなく、今の状態では好ましくないのははっきりしている。この耐震工事で移設できれば大変いいことだと思う。

(委員長) 皆様から、たくさんのご意見をいただきありがとうございます。是非耐震工事の際に進められるようにできればと思う。

(3) その他

(委員長) その他何かありませんか。

(委員長) みなさんが、いろいろな立場で、提出資料に関わる細部についてもご意見いただきありがとうございました。これからも委員の皆様が、何らかの形で図書館に応援できればと思う。今日は大変お疲れ様でした。

7 その他

《事務局説明》

10月20日(月)第34回山形県図書館研究大会へ図書館協議会研修として参加する。

8 閉会 主事補